

介護保険料 (基準額) が 4,950 円に

条例改正

介護保険条例

今までの実績と将来の見込みにもとづき、3年ごとに制度の見直しが行なわれます。「高齢者の増加」、「要介護者数の増加」、「介護サービスの増加」などをふまえた上で保険料額が見直され、新たな保険料が設定されました。

所得段階	対 象 者	保険料額 (年額)
第 1 段階	生活保護を受けている方 老齢福祉年金受給者で世帯全員が住民税非課税	20,500円→29,700円
第 2 段階	世帯全員が住民税非課税	30,800円→44,600円
第 3 段階	本人が住民税非課税	41,100円→59,400円
第 4 段階	本人が住民税課税で年間合計所得金額が200万円に満たない方	51,400円→74,300円
第 5 段階	本人が住民税課税で年間合計所得金額が200万円以上の方	61,600円→89,100円

事業所の排出ゴミも分別収集へ

条例改正

廃棄物の処理及び清掃に関する条例

ゴミ減量を目指して、事業所から排出されるゴミについても、一般家庭と同様に指定袋での分別収集になります。

事業所用	燃えるゴミ 燃えないゴミ 危険ゴミ	特大	40円	資源ゴミ	特大	18円
		大	20円		大	9円
		中	15円		中	7円
		小	10円		小	5円



いいあんべ一家が運用開始

条例

いいあんべ一家の設置及び管理に関する条例

平成15年4月1日からの開所にあたり、事業の内容・対象者・使用料や管理委託先等について審議しました。

- 職 員 —— 看護師・介護士の2名が常勤体制
- 休 館 日 —— 水曜日・祝祭日・年末年始
- ホ ー ル —— 9時～22時
- 機能訓練室 —— 9時～17時
- 管理委託 —— 社会福祉協議会

100円で1人1回3器具まで

いいあんべ共生事業も委託しており、いいあんべ一家と地域のいいあんべ共生事業との連携を図るため



平成14
年 度

一般会計最終補正可決!!

7号
補正

3億9,141万3千円を追加
100億1,361万9千円に!!

歳入では、国支出金 2億1,710万円、町債 1億4,700万円が主な補正。

歳出では、県支出金 2億3,322万円、地方債 1億8,670万円、その他5,305万円の特定財源の追加が主なもので、一般財源からの繰入れを8,000万円余が減額となった。

平成14年度繰越明許費、14億410万円は、過年度予算の未執行分であるが、その主なものは、地域イントラネット基盤整備事業、翁長～上原線、翁長～棚原線、小那覇～マリンタウン線、西原町立図書館が主な事業である。

平成14
年 度

特別会計補正可決!!

国民健康保険 (5号補正) 5,674,000円 歳入歳出とも減額
総額24億9,459万6千円に!

健康保険税の調定変更によるものと国庫補助金で療養給付費等交付金の減額によるものが大きい要因である。

保険給付費は増加したものの基金積立金及び予備費の減額によるものである。

介護保険 (6号補正) 1,956,000円 歳入歳出とも減額
総額11億3,477万円に!

国庫支出金 (事務費交付金) の減と、一般会計繰入金 (職員給与費等繰入金) の減額によるものである。

介護保険制度改正に伴うシステム改修 (認定システム等) 及び介護認定調査委託料の減によるものが大きい原因である。

土地区画整理事業特別会計補正 (4号補正)

歳入・歳出予算総額からそれぞれ42,120千円を減額、予算の総額が161,931千円となる。
(歳入、保留地処分15,932千円が処分できず、歳出の管理費423千円の減事業費41,697千円減によるものである。)

公共下水道事業特別会計補正 (5号補正)

歳入・歳出予算総額から8,312千円を減額、歳入、歳出予算総額が768,243千円となる。
(歳入の使用料の1,401千円の減と公共下水道整備費、管理費の減によるものである。)

小波津川をはさんで両サイドに町道を認定

町道認定

国道329号西原バイパス(予定)から国道329号までの区間で、2級河川に昇格した小波津川の河川沿いに7m道路の2路線を認定。(5年計画)



新教育委員に上里善幸さん

人事

与那嶺良栄教育委員長の退任に伴い、新しい委員に元坂田小学校の校長であられた上里さんに同意しました。

上里善幸 (67) 字与那城256番地の3

イラク問題の平和的解決を求める意見書

現在、アメリカ合衆国のブッシュ政権はイラクによる大量破壊兵器の開発・貯蔵などが行われていることを理由に、武力攻撃が危くされるなど、国際情勢は緊迫の度を増している。

このようなアメリカの動きに対して、国際的な批判も非常に強まっている。フランス、ドイツ、カナダ、中国、ロシアやアジア、アフリカ、中東諸国はもちろんアメリカの同盟諸国からも非難の声が上がっている。武力衝突が起れば、その惨禍ははかりしれず、紛争解決の手段として戦争を行うことは、断じて許すことはできない。

戦争のない平和な世界は、人類共通の願いであり、戦争で犠牲になるのは常に無防備な一般市民である。唯一の被爆国である我が国は、世界の恒久平和を確立するため、国際協調と国連中心を外交の基本とし、勇気をもって国際問題の平和的解決のために努力するべきである。戦争の悲惨さは、先の大戦で国内唯一の地上戦を体験し、未曾有の犠牲者を出した我が沖縄県民が良く知っている。イラ

ク攻撃の事態になれば、二年九月十一日の米国中枢同時テロ事件の経験からも判るように、過度な米軍基地が集中する沖縄県の観光産業に大きな影響を与える恐れと、紛争に巻き込まれる恐れもある。

よって、日本政府においては、日本国憲法の精神にのっとり、国際法並びに国連憲章のもと、世界中のいかなる所でも戦争が行われることのないよう、毅然とした態度で、積極的にあらゆる外交努力を尽くされることを強く要望する。

以上、地方自治法第九十九条の規定により意見書を提出する。

平成十五年三月七日

沖縄県西原町議会

あて先

内閣総理大臣

外務大臣

防衛庁長官

衆議院議長

参議院議長

小泉純一郎 殿

川口順子 殿

石破 茂 殿

綿貫民補 殿

倉田寛之 殿

動産の取得

18,650冊の図書を購入
 町立図書館建設事業(図書購入) 4,124万2,299円

賛成多数

平成16年10月開館に向けての図書購入

- 平成14年度 2万冊
- 平成15年度 4万冊
- 平成16年度 2万冊

開館時 8万冊の予定

1名の議員から図書館建設には反対との意義があり、採決の結果18対3の賛成多数で可決しました。

反対意見

この2ヶ年間の起債が40億円超す。それがゆえに100億円の一般会計における起債金額になる。交付税措置されるということではあるが、確実に公債比率が上がるということは無視できないので図書館建設そのものも一定期間、財源的、公債比率を十分に検証して、新たに進める必要がある。今後の西原町の財政的な面も含めて考えれば、いま一度立ち止まるのも勇気ではないか。

特別委員長報告

第三次基本構想

第三次基本構想に関する審査

12月議会で21名による特別委員会に付託されていた議案で、慎重審議の結果、付帯決議を付けて原案可決しました。

付帯決議

サブタイトルの使用については、町民から誤解を受けないようにすることを検討すること。

第二次基本構想と第三次基本構想の主な相違点

第二次基本構想	第三次基本構想	備考
将来像 「文教のまち西原」	将来のまちの姿 「文教のまち西原」 ～人ががやき 自然ゆたか 文化かおる 平和創造のまち～	「文教のまち西原」をより具体的にイメージするために加筆した。
構想の理念 ・自然環境を大切に、住みよいくらしを確立すること ・つねに平和を希求し、創造すること ・豊かさを実現し、活力にあふれること ・町民が相互に連帯と共感にささえられること ・町民ひとりびとりが創意工夫にあふれること	まちづくりの理念 1. 平和(心豊かに暮らし、多様な交流を通して平和を創造していくまちをつくります。) 2. 共生(自然を大切に、人と人が支えあう共生のまちをつくります。) 3. 躍動(多くの人々のエネルギーを結集し、活力に満ちたまちをつくります。)	第二次における5つの理念を今回「平和」「共生」「躍動」という3つの表現で端的にまとめた。
基本目標 1. 人間性豊かな創造のまち 2. 明るい住みよい平和なまち 3. 豊かで活力のあるまち	まちづくりの基本目標 1. 平和で人間性豊かな創造のまち 2. 明るい住みよい健康福祉のまち 3. 豊かで活力あるまち	本町における最重要施策と今後の重要課題として位置付けた。
将来人口 34,000人	将来人口 39,000人	
三大ビジョン 1. ぬくもりのあるまち構想 2. 生涯学習のまち構想 3. 豊かな自然を生かしたまち構想	4大構想(リーディングプラン) 1. 生涯学習のまち構想 2. いいあんべー共生のまち構想 3. 水と緑のまち構想 4. ちゅらまち整備構想ということで、第二次における三大ビジョンを構想としてより具体的に描くため、施策のイメージを掲げてまとめた。	